



観光大使と一緒にイチゴの味覚を楽しむ
やまゆり保育所のこどもたち

「イチゴ狩り」オープン

十二月十九日、千代田果樹観光協会主催によるイチゴ狩りが、大関いちご園で開かれました。
この日は近くのやまゆり保育所の子どもたち約四十人が招待され、口に入りきらないほどの大きくて真っ赤なイチゴをほおぼり、「あま〜」「おいしい」と、みな満足そうで笑顔がたえませんでした。
イチゴはかすみがうら市の冬の果物狩りの主役で、一月から二月が最盛期です。

「クズのつる籠」づくり教室を開催

十二月十日に、雪入ふれあいの里公園が雪山山で、「しぜん教室 クズのつる籠づくり」を開催しました。
参加者は、園内からクズのつるを探し出すところから始まり、太さも長さも不均等なつるを一所懸命に曲げながら籠の形を作っていました。
木にからまっているつるを取り出すのは、一苦労でしたが、自分で作ったオリジナルの籠が出来上がったときには、皆充実感でいっぱいようでした。
教室は、一月にも開催を予定しています。



雪山山のくずを使って籠の形に

「防災訓練」で緊急時対応の術を学ぶ

十二月十七日、霞ヶ浦保健センター前で、防災訓練が行なわれました。
災害発生時の被害軽減と防災意識の高揚、災害に関する技術の向上が目的で、消火器による初期消火訓練、応急手当訓練、地震車による模擬地震体験などが行なわれました。
防災に関する知識は専門的なもの他に、身近なことからできることも多くあります。日頃から防災に関する「意識」と「知識」を持つて生活をするように心がけましょう。



起震車で震度5の揺れを体験



救急を要する人が人の応急処置を教わる参加者

元バレーボール日本代表「井上謙」さんが指導

十二月二日に、わかぐり運動公園体育館にて、スポーツ選手ふれあい指導事業バレーボール教室を開催しました。
この事業は文部科学省と（財）日本体育協会の「子ども体力向上キャンペーン」の一環として、市が主催したもので、市内の小中学校から多数の参加者がありました。
講師は、元バレーボール日本代表としてソウルオリンピックなどに出場した井上謙氏。
指導を受けた児童は、「学んだことを練習に取り込んで頑張りたい」と話していました。



バレーボール部やスポ少などから多数の参加者が

地域の輪 色濃く残る「安飾まつり」開催

十二月三日、安飾小学校で、小学校と安飾公民館が主催の「安飾まつり」が開催されました。
まつりでは、餅つきや、ベーゴマ、メンコ遊び、子どもたちには珍しいポン菓子販売などが行なわれ、子どもから祖父母の代までみなが一体となって楽しんでいました。
また、子どもたちは、地元そば打ち同好会の方から、そば打ちを教わり、丹精込めて打ったそばを喜ばしげに持ち帰りました。



地元のそば打ち名人に教わる安飾の子どもたち

「第2回市女性団体チャリティーショー」

十二月二日、多目的会館にて「第1回市女性団体チャリティーショー」が開催されました。
このチャリティーショーは、市教育委員会の後援を受け、社会福祉への貢献事業として、市女性団体代表者連絡協議会の主催で、毎年この時期に実施されています。
今年も歌や踊り、大正琴など四十五組の出演者が自慢ののどや腕などを披露しました。会場には、チャリティーの趣旨に賛同した多くの人々が集まりショーを盛大に盛り上げていました。
今回の収益金の一部（十万円）は、市社会福祉協議会善意銀行へ寄付されました。



収益金の一部を市社協会長の坪井市長へ手渡す酒井会長